

さくら



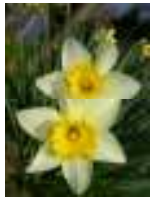
SAKURA

さくら第4号初夏
平成17年5月28日発行

目に青葉、山ホトギス そして花と華

「我的伯父・周恩来」

院長 蜂谷哲也



眸目に映るもの、すべてが麗しく爽やかに感じられ、芳香、風に漂う季節となりました。今年の卯月・皐月は、日本の南から北へと「さくら・サクラ・桜」の咲き揃いが近年になく素晴らしく見事なものでした。この五月も、色とりどりの花々と新緑鮮やかな木々がことさら美しいように思われます。話は大きく飛躍しますが、私たち人類はおよそ600万年前頃に類人猿から分化して、猿人・原人・旧人と変遷し、そして新人・現生人(ホモサピエンス)へと進化してきました。現代人の直系の祖先は、約3万年前頃から唯一命脈を保ってきた、クロマニヨン人だと言われています。この旧く長い時代の私達の系譜に繋がる「ヒト類」は、いったいどのような思いで、此の四月五月の風景に身を寄せていたのでしょうか。「ヒト」と動物との違いは「心の有り無し」だと言われています。私たちが人間として、自然界の動植物の頂点に存在していると思えばこそ、心の持ちようを大切に、豊かに育て、社会の至福につなげることが出来たらと思います。

話をさくらクリニックの医療の現場に戻しますと、許認可が下り、いよいよ6月1日から当方でも介護事業部門が正式に稼動することになりました。

クリニックさくら居宅介護支援事業所 ・ クリニックさくら訪問介護ステーション

上記の事業所を併設し、ケアマネージャー・介護支援専門員・介護福祉士・栄養士・調理師等の人員も既に配置を了え、今後積極的な活動を行っていきたく思っております。私たちの理念として掲げさせて頂くならば、「医療と介護・福祉は表裏一体を成すもの」ととらえ、地域社会の要請に適切に応えていきたく思っております。医療施設と介護施設とが、その時、その対象者にとって、最も適切な環境として選択されることが可能となりました。今後も、皆様からのご示唆、ご助力を頂きながら組織活動の充実・発展を図っていきたく思っております。

過日、中国北京の医療施設へ出張して来ましたが、昨今の中国の医療事情は、その急速な経済発展や医療技術の向上はもとより、疾病の趨勢や少子高齢化、環境や年金の問題など、日本社会の様相に類似してきております。当地では、故周恩来元総理の直系の甥姪にあたる、御三方の周先生と、僥倖にも懇談の機会を得ることが出来ました。

日中両国の政治問題とは別に、私たち医療人は、国家・民族・文化の違いを互いに理解し合って、ただ、ひたすらに、人々が安寧に暮らせるように少しでもお役に立てれば、との思いを新たにしました。

目次:	
目に青葉、山ホトギス 「我的伯父・周恩来」	1
端午の節句	2
さくら高爾夫会コンペ	2
海外出張報告	2
新人スタッフ紹介	3
医療知識 「ちょっと見て聞いて」	4
医学会のお知らせ	4
さくら腎友会より	5
お知らせ 編集後記	6



端午の節句



玄関ホールの鎧兜飾り

端午の節句にちなんで当院でも4月20日から5月20日まで玄関ホールに節句三段飾りを設けました。戦国時代の織田信長着用 に似せた鎧兜を上段に、第二段には右に神武天皇、左に鐘旭の立人形、下段には錦と鯉の旗立物、柏餅と香葱もお供えしました。

この段飾りの左右にはさくらクリニックのいつもの「豪華絢爛・支離滅裂」と言われる花木の陳列もありました。しゃくなげ・ピーコック薔薇・黄藤・クレマチス・エニシダ・ガーベラ・れんぎょう・桜草・芝桜・アマリリス・数種類の蘭などが皆さんの目を楽しませた事と思います。それに加えても圧巻は当さくらクリニックの竹林にニョキニョキと生えてきた1メートルもの竹の子でした。これも皆さんに供すべく「お飾り」しました。

屋外ではクリニック3階の窓から門口にある楠の大木へ渡したロープに結んだ10メートルもの吹流しと、職員から寄せられた28尾の色とりどりの鯉が五月晴れの空に躍り舞い、見る人の気持ちを高揚させてくれました。子供達や近所の人達から「こんなにたくさんの鯉が泳いでいて気持ちがいいわね」と喜ばれました。又、患者さんには東京巣鴨の「とげぬき地蔵尊」に特注した「金太郎飴」が配られました。

第10回「さくら高爾夫会」のゴルフコンペ

5月29日(日)、千葉県下の「丸の内倶楽部ゴルフ場」で患者さん・職員・関係業者の皆さん総勢15名の参加を得て「ゴルフコンペティション」が和気あいあいと行われました。優勝はN社の新任・根里氏で69.4、GROSSのトップはクリニック職員の栗飯原氏で84でした。ドラゴン賞は栗飯原氏とA社の後藤氏。ニアピン賞は根里・田辺・六平・後藤の四氏でした。ブービー賞は当院栄養部長の戸田氏、ブービーメーカー(つまり、ビリということ)は誰だったでしょう? 又、準優勝のL社・六平氏は初出場にもかかわらず沢山の賞品をもらい、呵呵大笑していました。次回は今秋を予定しております。



スタート前。緊張の面持ちでポーズ

海外出張報告

去る5月23日～26日までの4日間、蜂谷院長は中国へ出張しました。北京市にある日中友好病院及び協和医科大学病院の関係者と日中腎移植プロジェクトに関する協議の他、蜂谷院長の北京市和平里病院客員教授就任式に出席しました。またこの席上、王輝衛生局長・張明院長・王米米書記・楊永強副院長と議定を交わし、今後、さくらクリニックをはじめとして医学医療交流の協力関係をより一層強めることとなりました。蜂谷院長は先年来、中国江蘇省常州市の武進人民病院の名誉院長・同海南省の海口市人民病院の終身客員教授でもあり、此の度、新たな役職を担うこととなりました。

25日には、中華人民共和国において毛沢東と並び称される重鎮政治家・故周恩来元総理の直系甥姪にあたる周乗鈞・周乗和・周乗建の三先生と蜂谷院長との懇親の宴が和平里病院・張院長の主宰でもたれました。またその席では、同姪の周乗徳先生から、サイン入りの「我的伯父周恩来」の著書が蜂谷院長に贈られ、今後の日中交流の更なる発展が約されました。



透析病棟回診中の蜂谷院長



御三方の周先生と
(北京・東天紅飯店にて)



王局長・夏書記・楊副院長と
(天安門・故宮前庭にて)

新人スタッフ紹介

今春から私達スタッフに新しい仲間が加わりました。
皆様、どうぞよろしくお願ひします。

自己紹介

運輸課 河村 正二郎



初めまして。まずは私の自己紹介をしたいと思います。昭和22年1月20日生、58才男性です。血液型O型で趣味はテニスと釣り、お酒も大好きです。

この度、さくらクリニックに患者さんの送迎運転手として勤務することになりました。長年の和服販売より180度変わり今では諸先輩方の御指導により何とか半人前位にはなれたかなって感じです。

この仕事につきましては患者さんに安心していただけるような運転を心掛け、又、コミュニケーションも大事な事と思います。まだまだ未熟な私ですが一生懸命頑張っていきたいと思ひます。今後共皆様と共に末永く宜しくお願ひ申し上げます。

20歳の春

看護師 東城美智子

4月よりお世話になっております。東城美智子です。年齢は自称20歳?9歳の子持ちです。2~3年前までは息子に20歳と言ってごまかしていましたが、今では嘘がバレバレです(笑)

看護師を目指した理由は、お年寄りが大好きで、自分が幼少の時に祖父を亡くし、祖父に抱かれた記憶がなく、そのためかどうしてもお年寄りのお世話がしたかったので高校2年の時決意をし看護婦になろうと思ひました。

平成2年に看護師免許を取得、下志津病院で約15年間勤務をして、その間、外科病棟、内科病棟、小児科病棟、筋ジストロフィー病棟、整形外科外来、手術室を経験してきました。

さくらクリニックは自然にあふれていて静かでとても良い環境に恵まれ、スタッフの皆さんもとてもフレンドリーで温かくて、私も早くに溶け込めたように思ひます。

透析は全く初めての経験なので、早く仕事を覚え一人前になって皆様のお役に立ちたいと思ひます。本当にさくらクリニックに来て良かったと思ひ毎日です。どうぞよろしくご指導下さいますようよろしくお願ひ致します。命の限りがんばりま〜す。



訛ってますか?

臨床工学技士・臨床検査技師 杉本 明美



4月1日から技士部で勤務させてもらっている杉本です。富山の出身で今年2月に千葉市へ引っ越してきました。これからゆっくり千葉の観光スポットで楽しみたいと思ひています。

私は北里大学保健衛生専門学院の臨床検査技師養成科で学び、東京共済病院での実習を経て平成10年臨床検査技師になりました。富山市の病院で多分野での検査を行いながら、透析業務もしてました。平成15年に1年間の休職期間をいただき、同学院の臨床工学専攻科に入学し、新潟市民病院での実習を経て臨床工学技士になり復職しました。今年、結婚を機に退職して現在に至っています。

趣味は料理で、今は毎日の献立を考えるのが楽しみの一つです。他には着物が好きで、きものコンサルタントという着付けの先生の資格を持っています。着物は富山に置いて来たので少し淋しいですが、夏に向けて浴衣を持ってきて花火など楽しみたいと思ひています。これからスタッフのみなさんをはじめ患者の皆さんからもいろいろ教わりながら、今までの経験を活かして皆さんのより良い透析生活のお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

医療知識「ちょっと見て聞いて」

医療情報室

【二次性副甲状腺機能亢進症】

副甲状腺は頸部の甲状腺に隣接した小さな臓器ですが、実は骨代謝を活性化させる非常に重要なものです。

腎機能が低下して慢性腎不全が進行すると、腎臓から分泌されるホルモンが不足して、ビタミンDの吸収やカルシウム吸収が不足します。透析患者は尿排泄が減少してくると、高リン血症になります。このビタミンDやカルシウム不足、高リン血症が長く続くと副甲状腺ホルモンが沢山分泌され、これを二次性副甲状腺機能亢進症といいます。血清副甲状腺ホルモンが高い状態が長く続くと副甲状腺が肥大して、やがて骨が弱くなります。

「何故、血液検査をして『リンの多い食品を控えて下さい。薬をしっかり服用してください』と注意されるのか」という質問をよく受けますが、それは二次性副甲状腺機能亢進症による症状や合併症を出来るだけ防ぐためであり、又、根治的な治療ということになると、副甲状腺の手術に限られるからです。

副甲状腺ホルモン(i-PTH)、アルカリフォスファターゼ(ALP)の高値な方は、リンやカルシウムの定期的な血液検査をしてコントロールを心掛けると共に、画像診断、頸部エコー、頸部CT、骨塩定量等の検査を必要に応じて行うのが望ましいと思います。

- 〔臨床症状〕
- ①骨塩減少
 - ②透析骨症による多関節痛
 - ③易骨折、特に大腿骨頸部骨折、QOLの低下
 - ④全身掻痒感
 - ⑤いらいら感
 - ⑥しびれ
 - ⑦異所性石灰化

〔合併症〕 動脈硬化の進行

- ①心血管病変
手術症例のうち50%で心臓弁の石灰化を認め、10%で心臓バイパス術を必要としている。5%で拡張型心筋症、心収縮能低下
- ②閉塞性黄疸
総胆管結石嵌頓による急性胆嚢炎、急性膵炎
- ③上腸間膜動脈の閉塞による
壊死性腸炎⇒汎発性腹膜炎⇒敗血症

〔基準値〕

血清カルシウム	8.5～10.5mg/dl
血清リン	3.5～5.5mg/dl
i-PTH	85～170pg/ml
ALP	150～240IU/l

〔治療〕①血清カルシウムを上昇させる

活性型ビタミンDの内服
(アルファロール、ロカルトロール)

②血清リンを低下させる

炭酸カルシウム、カルタン、レナジェルの内服

③ビタミンD剤の注射

透析後に静注する(ロカルトロール、オキサロール)
i-PTH 170pg/ml以下が目標です

④i-PTH高値で画像診断にて副甲状腺腫大

副甲状腺にビタミンD剤注射を行うと小さくなる

⑤副甲状腺腫大が著名な時は手術

(文責：医師 鈴木俊彦)

医学会のお知らせ

第50回日本透析医学会学術集会・総会

日時 2005.6/24(金)～26(日)

会場 パシフィコ横浜

演題 「手動回路内抜液の有用性と安全性」

演者 さくらクリニック

○櫻井美紀、神谷豪、横田光司、
鈴木俊彦、深沢規夫、蜂谷哲也



第50回日本透析医学会学術集会に当院からも1演題応募し、6/26(日)のポスターセッションに発表することとなりました。演題内容は、「返血時の安全性を考慮した生食置換返血を施行した際の医療廃棄物増大を軽減させる方法を検討」したものです。ポスター発表者は、櫻井美紀(臨床工学技士)です。全てが初めての経験であり、その準備に奮闘する毎日ですが、透析技術の更なる充実、発展に役立てられるよう頑張ってお知らせしたいと思います。

さくら腎友会より

千腎協(全腎協)会員に加入しよう

会長 瀬戸義一

千腎協は、昭和46年7月、腎臓病患者の「命と暮らしを守る」ために船出をしました。そして34年が過ぎ、当時語り継がれていました「金の切れ目が命の切れ目」と涙を流す事もなくなり、まさしく活動の、成果で現在は「いつでもどこでも誰でも」透析は受けられるように成りましたが、経済不況を理由に、医療福祉の改悪が進みつつあります。千腎協はこの様な状況を鑑み、責任ある行動で地域の皆様にご理解ご協力を、頂きながら、これからは、もっと声をだして活動をして行く事が大切です。
(千葉腎友 第108号 事業活動報告より抜粋)

皆様も、千腎協に加入(同時に全腎協も登録)し、安心して透析を受けられる様に力を結集して頑張りましょう。
(申し込み、問い合わせは、腎友会役員までお願いします。)

お花見会が晴天満開のもとに

「金魚すくい」に喜色满面



クリニックのソメイヨシノ



去る4月3日、クリニック前庭で恒例のお花見会が催されました。今年の桜の開花は3月の低温つづきもあり、4月に入って繚乱といっても過言ではないほどに一斉に咲き誇り、当日は近年にない満開と好天に恵まれました。外来・入院の患者さんをはじめ、その御家族や職員が相集い、150名を超える参加者となりました。いつものように模擬店(やきそば・焼きイカ・綿あめ・焼き鳥・カレーライスなど)に加え、もちろん「餅つき」もありました。また、今回からの新たな出し物として「金魚すくい」も出店しました。印旛沼畔の専門店から700匹の金魚を集め、すくい網も街中の夜店で出すものよりも厚手のものを用意してみました。当初は集まった子供達にだけとの企画でしたが、いざ始めてみると大人達が我を忘れて「すくい」に興じていました。皆さんがそれぞれ数匹以上の金魚をすくいあげ、喜んで持ち帰られました。それでも残った金魚が100匹余りいましたので、それは当院の庭池に放たれました。来年もまた大きくなってさくら祭りに赤い尾びれを見せてくれるといいですね。でも、池には鯉が10数尾いるのでちょっと心配ですね。

もうひとつの新しい出し物としてバザーを行いました。患者さんや職員の皆さんから出して頂いた美術工芸品等の骨董や小物類をはじめとして、多くの品々でフリーマーケットが開店されるや否や、瞬く間に売れとび、合計で23000円の売り上げとなりました。この収益金は「三宅村噴火災害に伴う帰島復興支援金」として対策本部に、「さくら腎友会」の名で、全額寄付されました。皆さん、ご協力ありがとうございました。来年もますます盛大でありますように。

さくら文華祭のお知らせ

さくら腎友会
さくらクリニック 共催

今秋、11月3日(文化の日)の前後、約3週間に亘って患者の皆さんとその御家族、クリニック職員による文化芸術の催しを行う運びとなりました。皆さんからの絵画・写真・書道・刺繍・工芸・工作・生け花・川柳・俳句・和歌等なんでも結構ですのでお寄せ下さい。上手、下手は一切問いません。旅行写真とか思い出の作文・自慢の骨董品や珍品等の品々も是非展示させてください。特等賞品などもれなく褒賞を用意いたします。奮って御参加下さい。

クリニックからのお知らせ

●「個人情報保護に関する宣言」

当院では、当院をご利用になる方々の個人情報につきまして、「個人情報保護に関する法令」及び厚生労働省が策定した「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」を遵守して、個人の人格尊重の理念の下に下記の通り個人情報の保護を行うことを宣言いたします。

記

- 1 当院では、この宣言を当院の従業者その他関係者に周知徹底し、実行してまいります。
- 2 当院では、個人情報の保護のために「個人情報取扱い規則」を定め、任体制を明確にするとともに、保管・管理の措置を講じます。
- 3 当院では、個人情報の入手を適法に行い、その利用目的等については院内に掲示して告知します。個人情報の利用は、利用目的に添った範囲内について、業務上必要な範囲に限り行います。
- 4 当院では、ご本人の申し出により情報の開示、訂正、利用停止、削除等を行います。
- 5 当院では、ご本人の同意なく第三者への個人情報の提供を行いません。但し、利用目的で示した範囲及び、法律により情報提供が求められる場合には、法律やガイドラインに沿って提供を行う場合があります。
- 6 詳細については医事課(受付)窓口にお問い合わせ願います。

さくらクリニック
2005年 4月 1日



北京市和平里病院から当院に贈られた金絹糸刺繍の「福額」
「福」の右に鳳凰、左は龍

●診療時間

月水金 7:30~22:00
火木土 7:30~16:00

●医師担当表

	月	火	水	木	金	土
I	鈴木 蜂谷	鈴木 蜂谷	鈴木 蜂谷	蜂谷	蜂谷	鈴木 蜂谷 深沢
II	鈴木 蜂谷	鈴木 蜂谷	鈴木 蜂谷	蜂谷	蜂谷	鈴木 蜂谷 深沢
III	鈴木 蜂谷		鈴木 蜂谷		蜂谷	

編集後記



発行：医療情報室
編集部員：橋本 和政
三澤 道夫
粟飯原成一
横田 光司
額賀 裕子
鎌田美穂子

早朝、クリニック裏手の雑木林からは、ウグイスの清らかな啼き声が心地よく聴こえてきます。「さくら」も第4号。発行の回を重ねるごとに嬉しく感じます事は、皆さんからの絶大な御協力により、この小さな広報誌「さくら」の紙面が充実の度を深めていると共に、読んで戴いた方々から多くの感想・ご意見を頂いていることです。

紙面作りは、患者さんやスタッフからの原稿・写真をもとにパソコンによる編集作業等、多くの人の協力に依るもので、全員参加の作品です。今秋には「さくら文華祭」も企画されており、これからは医療現場はもとより、文化的な人材も大切に育てていきたいと思っております。

育てると言えば、最近の玄関ホールと玄関先の庭に彩々の草花が増えています。さらに裏庭の菜園では「さつまいも」「にんにく」などの栽培も開始しました。育てる楽しみ・喜びが増えました。夏に向けての御自愛をお祈りいたします。

さくらクリニック

腎臓内科・一般内科・外科・在宅訪問診療
人工透析(HD・HDF・CAPD)
生活習慣病相談・リハビリテーション訓練
外来透析65床・入院応需19床

〒284-0001
千葉県四街道市大日593-1
電話 043(424)1211
FAX 043(424)1007

顧問 医学博士 深沢 規夫
院長 医学博士 蜂谷 哲也
診療部長 鈴木 俊彦